

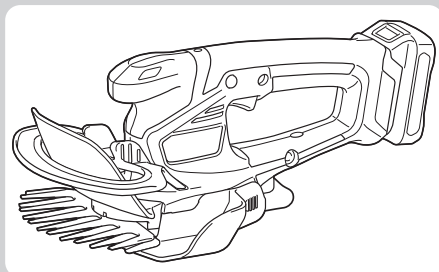
Makita

取扱説明書

160 mm

充電式芝生バリカン

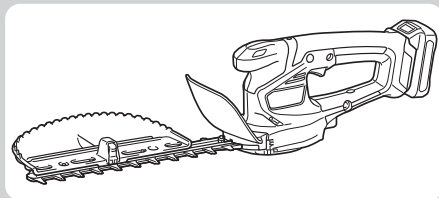
モデル MUM600D



260 mm

充電式ミニ生垣バリカン

モデル MUH264D



このたびは充電式芝生バリカン/充電式ミニ生垣バリカンをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意……………2

充電式芝生バリカン安全上のご注意 ……13

充電式生垣バリカン安全上のご注意 ……15

各部の名称および標準付属品……………18

- ・ 充電式芝生バリカン (MUM600D)
- ・ 充電式ミニ生垣バリカン (MUH264D)

別販売品のご紹介……………20

共通機能について……………21

- ・ バッテリー保護機能
- ・ バッテリーについて
- ・ バッテリー残容量表示機能
- ・ バッテリーの充電方法
- ・ 充電表示ライトについて
- ・ 冷却システムについて
- ・ バッテリーを長持ちさせるには
- ・ バッテリーの回収について
- ・ 壁に取り付けて使用する場合
- ・ 充電器の点検・修理・保管について

使い方 (MUM600D)……………31

- ・ バッテリーの取り付け・取りはずし方
- ・ スイッチの操作
- ・ バッテリー切れお知らせランプについて
- ・ バッテリー切れお知らせランプの状態と対応
- ・ ブレードカバーの取り付け・取りはずし方
- ・ 刈り込み高さ調整
- ・ グラスレシーバの取り付け・取りはずし方
- ・ キワ刈りガードの取り付け・取りはずし方
- ・ 刈り込み方法
- ・ 芝生の刈り込み
- ・ 長い芝の刈り方
- ・ 庭木の刈り込み

シャープブレードの交換方法 (MUM600D) ……41

使い方 (MUH264D)……………46

- ・ バッテリーの取り付け・取りはずし方
- ・ スイッチの操作
- ・ バッテリー切れお知らせランプについて
- ・ バッテリー切れお知らせランプの状態と対応
- ・ チップレシーバの取り付け・取りはずし方
- ・ 刈り込み方法
- ・ トビヤリーについて

シャープブレードの交換方法 (MUH264D) ……52

別販売品の使い方……………59

- ・ 芝生バリカンからミニ生垣バリカンへの変更
- ・ ミニ生垣バリカンから芝生バリカンへの変更

保守・点検について……………63

- ・ 本製品のお手入れ
- ・ シャープブレードのお手入れ
- ・ 保管場所について
- ・ 修理の際は

主要機能……………66

充電式芝生バリカン/充電式ミニ生垣バリカン 保証書 ……72

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

作業環境

- 1** 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3** 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 4** 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- 5** アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

- 1** 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 2** 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。

⚠ 警告

- 3 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 4 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
- 5 使用環境に適した延長コードを使用してください。
- 6 USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

- 1 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
- 2 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

⚠ 警告

- 3** 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スwitchに指をかけて運ばないでください。
- 4** 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
- 5** 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 6** きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7** 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
- 8** 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

- 1** 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 2** スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- 3** 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・本製品の調整
 - ・刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・保管、または修理
 - ・充電工具から離れるとき
 - ・本製品の受け渡し
 - ・その他危険が予想される作業
- 4** 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
- 5** 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

⚠ 警告

- 6 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
- 7 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
- 8 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
- 9 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

- 1 バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
- 2 バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 3 マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具体体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

⚠ 警告

- 4** バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
- 5** 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
- 6** バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 7** バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
- 8** バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 9** 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 10** バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 11** バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

警告

- 12 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 13 落したり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
- 14 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 15 バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
- 16 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
- 17 バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

⚠ 警告

整備

1 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
＜異常・故障例＞
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

- 2 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 3 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
- 4 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災の恐れがあります。
- 5 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ぼこりの多い場所で充電しないでください。
- 6 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 7 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 8 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 9** 正しく充電してください。
- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ラベルに「**発電機**」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

- 10** 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- ・感電の恐れがあります。

- 11** 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- ・誤動作や故障する恐れがあります。

- 12** 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
- ・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

- ・先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式芝生バリカンとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 1** 草木や枝を手で持って切断したり、刈刃に手や顔を近づけないでください。
 - ・けがの恐れがあります。
- 2** 使用する前に必ず近くに人がいないことを確認してください。また、使用中には人を近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- 3** 使用中に異物をかみこんでシャープブレードが動かなくなったときは、必ずスイッチを切り、バッテリーを取りはずしてから、ペンチなどの工具を使って異物を取り除いてください。
 - ・手で異物を取り除くと、取り除いた反動でシャープブレードが動いて、けがの原因になります。
- 4** 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 5** 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 6** 本製品は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがありますので、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。
 - ・力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に体への負担にご注意ください。

充電式芝生バリカン安全上のご注意

⚠ 注意

- 1** 作業を中止したときや使用後は、シャープブレードにブレードカバーをつけてください。
 - ・ シャープブレードが露出したまま放置すると、思わぬけがの原因になります。
- 2** 殺虫剤などの薬品が本製品に付いたままにしないでください。
 - ・ 破損や亀裂が生じるおそれがあります。
- 3** 刈り込みをする前に、芝生内の異物（小石など）を取り除いてください。
 - ・ 飛び散る石や破片などでけがの恐れがあります。

- ・先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式生垣バリカンとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 1** 使用中は、本製品を両手で確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 2** 充電式生垣バリカンを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・感電や本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。
- 3** 使用前にシャープブレードにひび割れ、歪み、異常摩耗などキズがないことを確かめてください。
 - ・これらのキズを発見した場合には絶対に使用しないでください。刃物が破損し、けがの恐れがあります。
- 4** 使用前にプロテクタが取り付けられていることを確かめてください。
 - ・飛び散る破片などがけがの原因になります。
- 5** 使用する前に必ず周囲に人がいないことを確認してください。
 - ・事故の恐れがあります。
- 6** 使用中は、シャープブレードに手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- 7** 使用中に異物をかみこんでシャープブレードが動かなくなったときは、必ずスイッチを切り、バッテリーを取りはずしてから、ペンチなどの工具を使って異物を取り除いてください。
 - ・手で異物を取り除くと、取り除いた反動でシャープブレードが動いて、けがの原因になります。
- 8** 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

警告

- 9** 誤って落としたり、ぶつけたときは、シャープブレードや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- 10** 本製品は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがありますので、定期的に休憩をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。
 - ・力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体への負担にご注意ください。

充電式生垣バリカン安全上のご注意

⚠ 注意

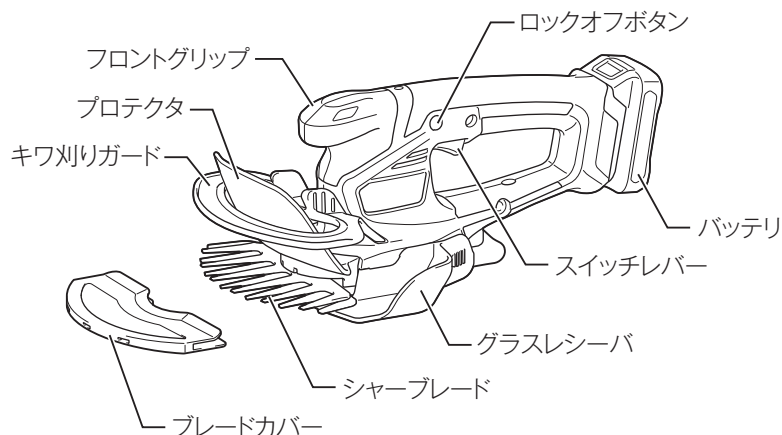
- 1 使用しないときや、持ち運ぶときは、シャープブレードにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにしてください。また、お子様の手の届かない所に保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
- 2 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 3 油および殺虫剤などの薬品が本製品に付いたままにしないでください。
 - ・ 変色・変形・割れなど、本製品が損傷する恐れがあります。
- 4 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- 5 取り付けネジの点検
 - ・ 本製品を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。
- 6 作業中、作業直後の金属部は高温になっている場合がありますので、触れないでください。
 - ・ やけどの恐れがあります。

注

- ・ 芝生や雑草などを刈り込まないでください。刈刃に芝生や雑草がかみ込むことがあります。

各部の名称および標準付属品

充電式芝生バリカン（MUM600D）

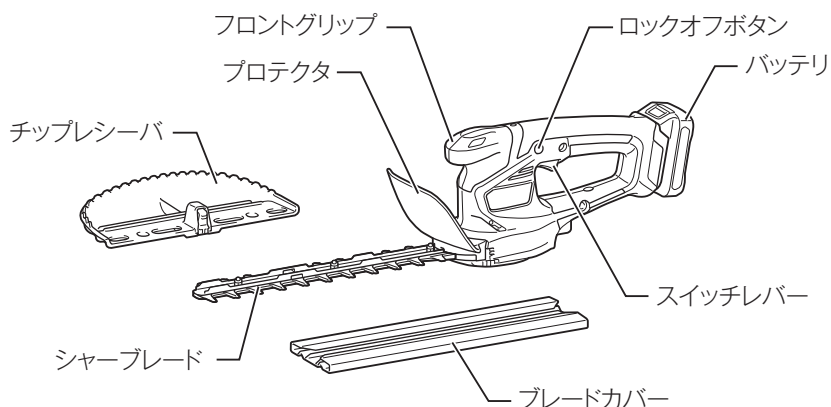


標準付属品

標準付属品 \ モデル	MUM600DZ	MUM600DSH
バッテリー (容量 / セル数)	×	BL1015 (1.5 Ah/3 本)
充電器 (充電時間)	×	DC10SA (約 22 分)
グラスシェーバ	○	○
キワ刈りガード	○	○
ブレードカバー	○	○
バッテリーカバー	×	○

各部の名称および標準付属品

充電式ミニ生垣バリカン（MUH264D）



標準付属品

標準付属品 / モデル	MUH264DZ	MUH264DSH
バッテリー (容量 / セル数)	×	BL1015 (1.5 Ah/3 本)
充電器 (充電時間)	×	DC10SA (約 22 分)
ブレードカバー	○	○
チップレシーバ	○	○
バッテリーカバー	×	○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリー BL1015（容量 1.5 Ah/ セル数 3 本）
部品番号 :A-59841
- ・ バッテリー BL1040B（容量 4.0 Ah/ セル数 6 本）
部品番号 :A-59863
- ・ 芝生バリカン用シャープブレード 160 mm
部品番号 : A-51100
- ・ 生垣バリカン用シャープブレード 260 mm
部品番号 : A-63753
- ・ チップレシーバ
部品番号 : A-57940
- ・ 生垣用 2 ウェイチェンジセット（ブレードカバー、保管ケース）
部品番号 : A-51144
用途：芝生バリカン MUM600D をお使いで、ミニ生垣バリカンとしても活用したい場合、本品と生垣バリカン用シャープブレード 260 mm（部品番号 : A-63753）をお買い求めいただくことでミニ生垣バリカンとして使用することができます。（59 ページを参照してください。）
- ・ 芝生用 2 ウェイチェンジセット
（ブレードカバー、保管ケース、グラスレシーバ、キワ刈りガード）
部品番号 : A-63769
用途：ミニ生垣バリカン MUH264D をお使いで、芝生バリカンとしても活用したい場合、本品と芝生バリカン用シャープブレード 160 mm（部品番号 : A-51100）をお買い求めいただくことで芝生バリカンとして使用することができます。（61 ページを参照してください。）

バッテリー保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。このときは使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ましてください。バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、バッテリーをはずして充電してから本製品に取り付け、動作させてください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。このときは本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。） ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

共通機能について

■ シンボルマークについて

- ・ 充電器および取扱説明書にシンボルマークを表記しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

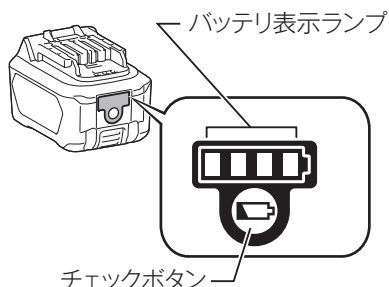


充電器は屋内で使用してください。

バッテリー残容量表示機能

バッテリー表示ランプを搭載したバッテリーでは残容量の確認ができます。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



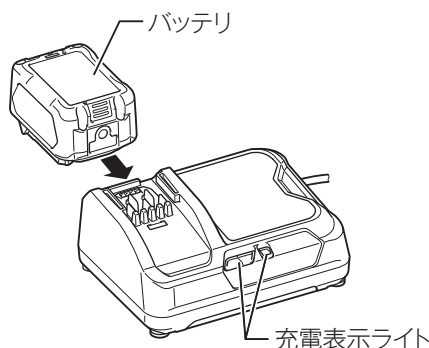
バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
 :点灯	 :消灯	
		75% - 100%
		50% - 75%
		25% - 50%
		0% - 25%

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



共通機能について

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようにになっています。
(通常充電時のライト表示および表示内容)

ライト表示	点灯	表示内容
		充電前「緑1個」点滅 電源に挿し込んだ状態です。
		冷却中「赤1個」点滅 バッテリー・充電器が充電可能な温度状態 になった後、自動的に充電開始します。
		充電中「赤1個」点灯 バッテリー容量 約0~80%を示します。
		80%充電「赤1個・緑1個」点灯 バッテリー容量 約80~100%を示します。 (80%充電表示は、おおよその目安です。 バッテリーの温度・状態により変動します。)
		充電完了「緑1個」点灯

(異常時のライト表示および表示内容)

		充電不可「赤・緑1個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
		冷却異常「黄」点滅 冷却ファン故障、または冷却不足です。

共通機能について

注

- DC10SA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。
このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 充電時間は周囲温度やバッテリーの状態により長くなることがあります。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方をお買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - ×充電器のプラグを 100 V の電源に挿し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - ×バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、4 時間以上たっても充電が完了しない。(表示ライトが「緑」に変わらない。)
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に挿し込んで冷却してから充電することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

- ・ 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ 2 本で確実に吊下げてください。
- ・ 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリーを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 取り付け作業を行うときは、バッテリーを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- ・ 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ・ ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- ・ 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- ・ 充電器本体、バッテリーの総重量は、約 1.1 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

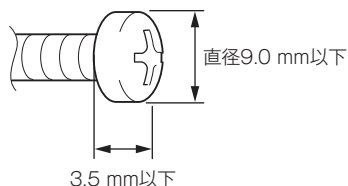
※この充電器は横配置と縦配置の 2 方向で壁に掛けることができます。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

- ・ 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：2 本
※ネジ頭は下図の寸法としてください。

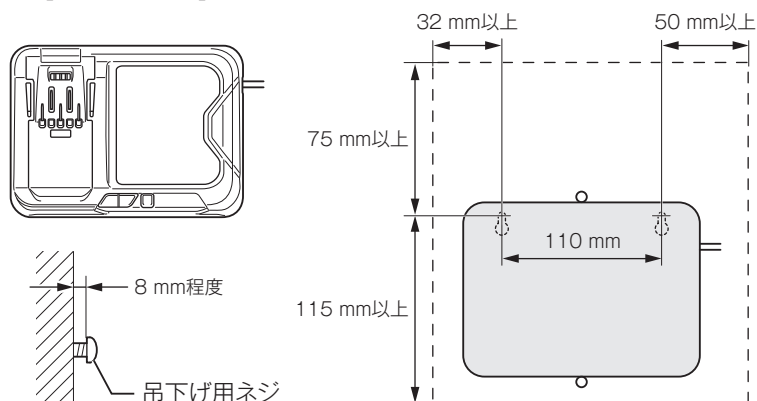


- ・ 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- ・ 木ネジ（固定用ネジ 2）4 mm × 40 mm 以上：1 本
- ・ 工具（ネジ締め用）

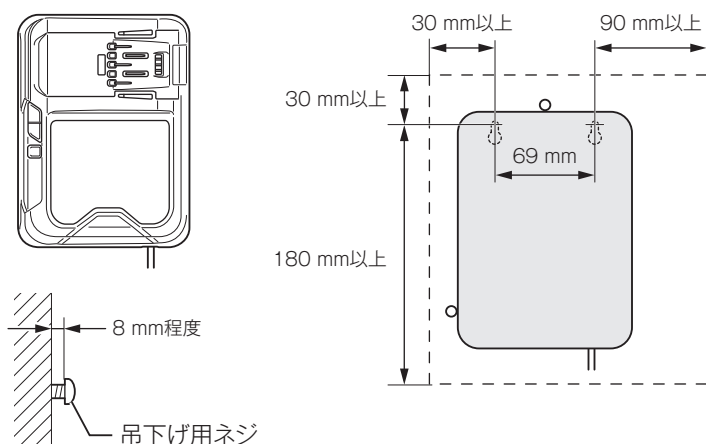
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリーの充電作業の障害になる出っ張りなどが無い、強度のある壁面に取り付けてください。

〔横配置の場合〕



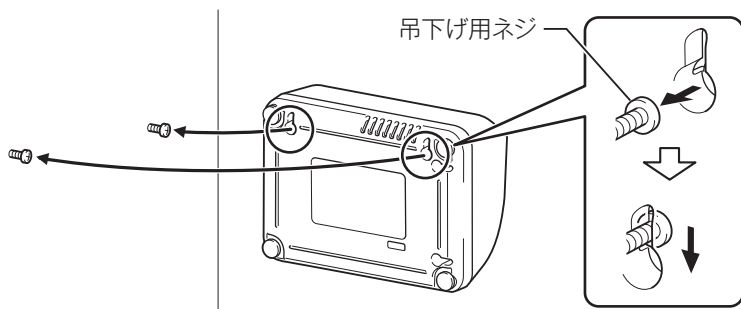
〔縦配置の場合〕



3. 充電器の取り付け

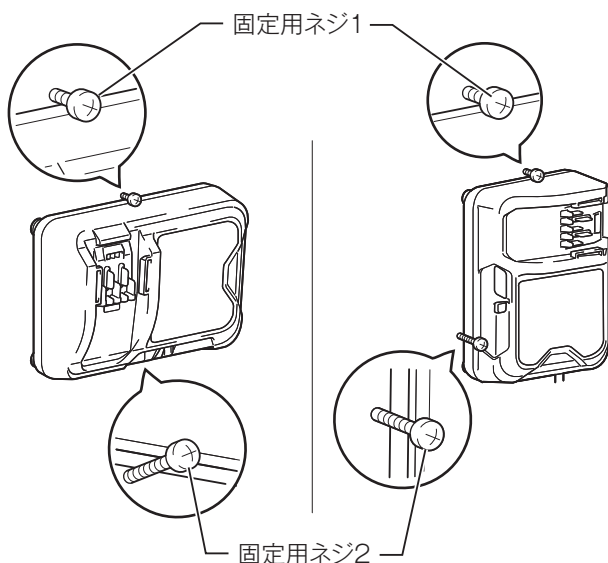
手順 2 で取り付けした吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。

例:横配置で取り付ける場合



4. 充電器の固定

固定用ネジを図のように締め込んでください。



[横配置の場合]

[縦配置の場合]

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方 (MUM600D)

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

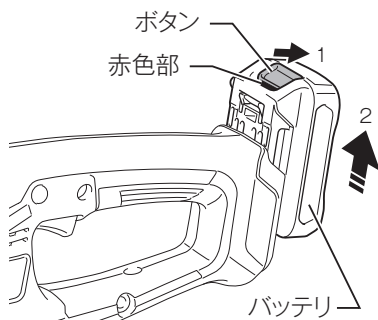
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に動き出し、事故の原因になります。

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

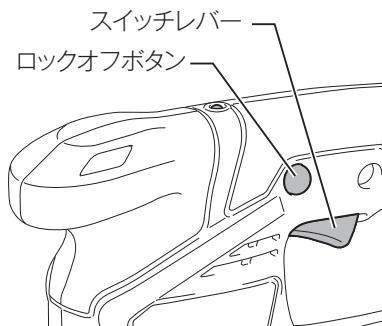
- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

- ・ バッテリーを本製品から取りはずすときは、1. バッテリー正面のボタンを下げながら 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



スイッチの操作

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。ロックオフボタンは、左右、どちらの方向からでも押すことができます。
- ・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



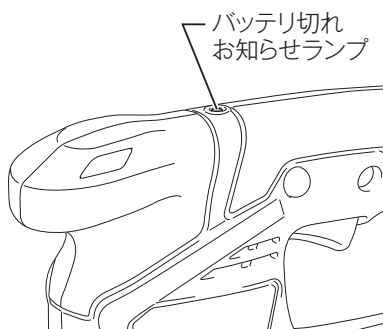
バッテリー切れお知らせランプについて

⚠ 警告

シャープブレードに異物がかみ込んだときはスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、異物を取り除いてください。

・ 不意な動作によるけがの原因になります。

- ・ 本製品を運転すると、赤ランプの点灯、点滅によりバッテリーの残容量を確認できます。
- ・ また、作業中の過負荷によりシャープブレードが止まってしまった場合も赤ランプが点灯します。



バッテリー切れお知らせランプの状態と対応

バッテリー切れ お知らせランプ	状態	対応
赤点滅	バッテリー残容量少	早めにバッテリーを 充電してください。
赤点灯※ 1	バッテリー残容量低下 によりモータ停止	バッテリーを充電 してください。
赤点灯※ 1	過負荷によりモータ停止	スイッチを OFF に してください。

※ 1 バッテリー切れお知らせランプ赤点灯のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

ブレードカバーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ブレードカバーの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

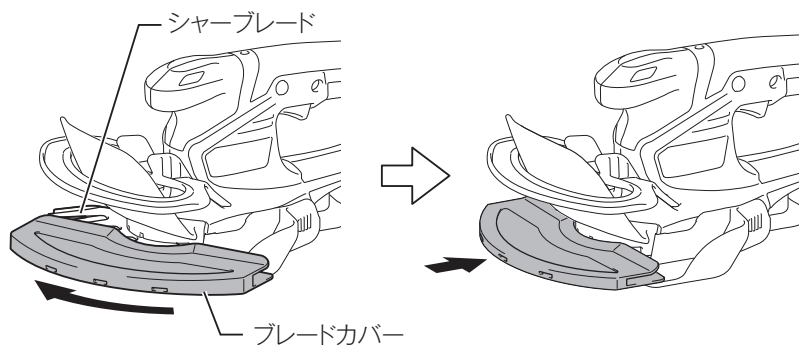
- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

ブレードカバーの取り付け、取りはずしの際は、シャープブレードに触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ グラスレシーバが付いた状態での取り付け方は、図のように本製品の横からブレードカバーをシャープブレードが完全にかくれるまでスライドさせた後、軽く本製品側へ押し込んでください。
- ・ 取りはずし方は、取り付け方の逆の要領で行ってください。



使い方 (MUM600D)

刈り込み高さ調整

⚠ 警告

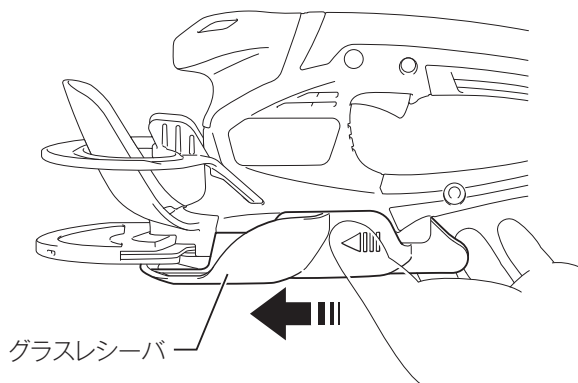
刈り込み高さ調整の際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。
・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

刈り込み高さ調整をする際は、ブレードカバーを取り付けた状態で行ってください。また本製品とグラスレシーバの間で指をはさまれないようにしてください。

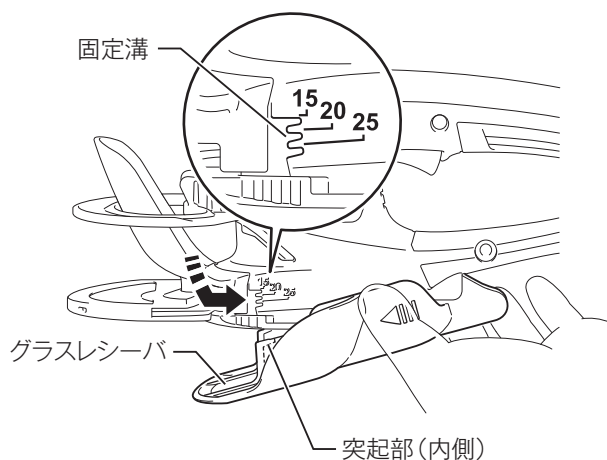
- ・ けがの原因になります。
- ・ グラスレシーバの固定位置により、刈り込み高さを3段階（15、20、25 mm）に調整できます。グラスレシーバをはずして使用すると、刈り込み高さは約 10 mm になります。

1. グラスレシーバを本製品の前方向へ押します。



使い方 (MUM600D)

- 2.** グラスレシーバを矢印方向に動かして、突起部の固定する位置を変えます。



注

- ・ 刈り込み高さの数値は目安です。芝や地面の状態で変化することがあります。
- ・ 手前に引きながら刈り込みをすると、刈り込み高さの位置が変わることがあります。

使い方 (MUM600D)

グラスレシーバの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

グラスレシーバの取りはずし、取り付けの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

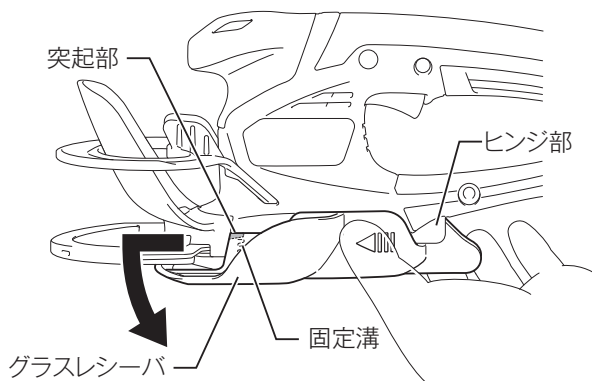
⚠ 注意

グラスレシーバの取りはずし、取り付けの際は、ブレードカバーを取り付けた状態で行ってください。また、本製品とグラスレシーバの間に指をはさまれないようにしてください。

・ けがの原因になります。

■ 取りはずし方

1. グラスレシーバを本製品前方に押しながら、矢印方向に動かしてグラスレシーバの突起部を固定溝からはずします。
2. グラスレシーバのヒンジ部を本製品からはずします。



使い方 (MUM600D)

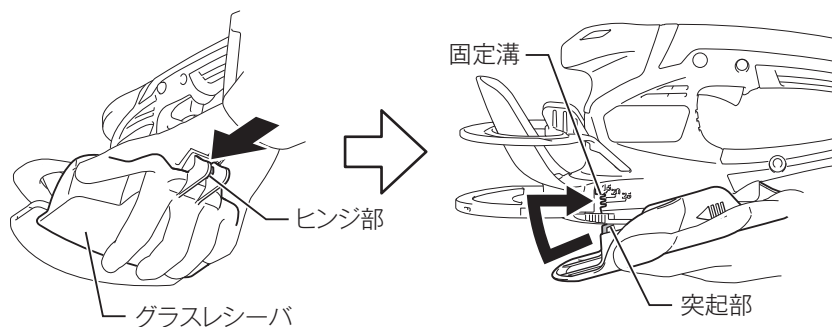
■ 取り付け方

⚠ 注意

ガラスレシーバの突起部を固定溝にはめた後、ガラスレシーバのヒンジ部を本製品に無理に取り付けしないでください。

・ 本製品の損傷やけがの原因になります。

1. ガラスレシーバのヒンジ部を本製品に引っかけます。
2. ガラスレシーバを本製品前方に押しながら、矢印方向に動かしてガラスレシーバの突起部を固定溝にはめ込みます。



使い方 (MUM600D)

キワ刈りガードの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

キワ刈りガードの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

キワ刈りガードの取り付け、取りはずしの際は、ブレードカバーを取り付けた状態で行ってください。また本製品とキワ刈りガードの間に指をはさまれないようにしてください。

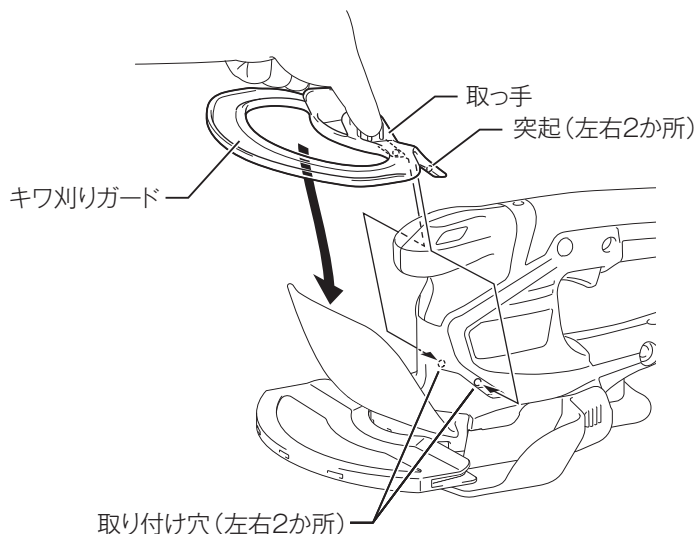
- ・ けがの原因になります。

■ 取り付け方

- ・ キワ刈りガードの取っ手を持ち、突起（左右2か所）を本製品の取り付け穴（左右2か所）に固定します。

■ 取りはずし方

- ・ 取っ手を持って押し、そのまま引っ張ります。



使い方 (MUM600D)

刈り込み方法

⚠ 警告

シャープブレードの前方に手を出さないでください。

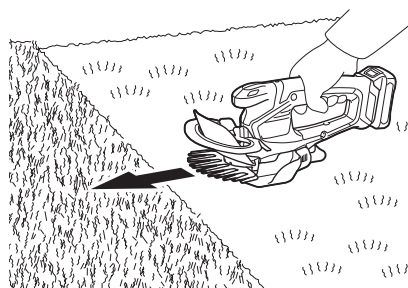
- ・ けがの恐れがあります。

⚠ 注意

炎天下での作業は、できる限り避けてください。炎天下での作業をされる場合には暑さ対策をし、体調に十分注意してください。

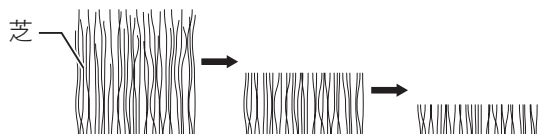
芝生の刈り込み

- ・ 刈り込み高さを調整後、スイッチを入れ、本製品を芝生の上に置き、すべらせるようにして前進させてください。
- ・ グラスレシーバの固定位置を調整することで、刈り込み高さを変えることができます。



長い芝の刈り方

- ・ 長い芝は一度に短く刈らず日をあけて徐々に刈り高さを低くして短く刈りそろえてください。
- ・ キワ刈りガードの高さ程度まで伸びた芝を刈るときは、キワ刈りガードをはずした方がスムーズに作業できます。(縁石や塀などで作業をしない場合に限ります。)

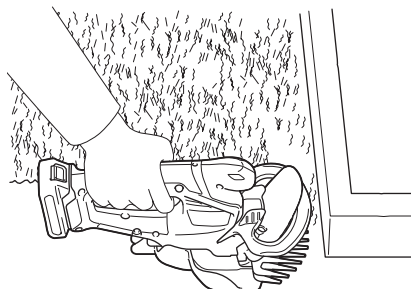


注

- ・ 長い芝をいきなり低い刈り高さで刈ると、芝が枯れることがあります。

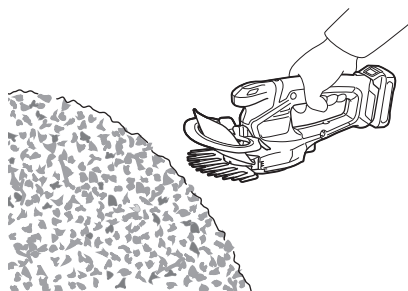
使い方 (MUM600D)

- ・ 縁石や塀、立ち木の周囲の刈り込みをするときはキワ刈りガードを縁石などにそわせて刈り込んでください。



庭木の刈り込み

- ・ 植木や植込みの新芽や葉の刈り込みをするときは、グラスレシーバを本製品から取りはずし、少しずつ刈り込んでください。
- ・ 太い枝はあらかじめせん定バサミなどで刈り込み高さまで切っておいてください。



注

- ・ モーターがロックしたり、回転が極端に落ちるような使い方をしないでください。モーター焼けの原因になります。
- ・ 太い枝は切断しないでください。モーターが停止し、故障の原因になります。
- ・ シャープブレードに土が付くと切れ味が悪くなります。シャープブレードが地面に触れないようにしてご使用ください。
- ・ ぬれた芝生・植木などの刈り込みはしないでください。故障の原因になります。
- ・ キワ刈りガードを持って作業をしないでください。
- ・ キワ刈りガードに触れる際は必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

シャープブレードの交換方法 (MUM600D)

⚠ 警告

シャープブレードの交換の際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

シャープブレード取り替えの際は必ず手袋およびブレードカバーをつけ、手や顔などが直接刃物に触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

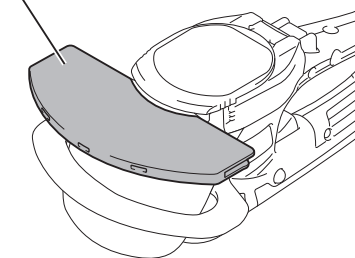
注

- ・ ギヤやクランクに付いているグリスは拭きとらないでください。故障の原因になります。

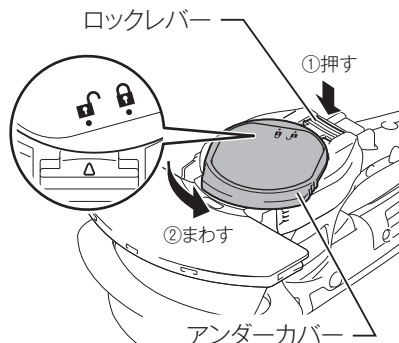
■ 取りはずし方

1. グラスレシーバを取りはずしてから本製品を裏返します。
グラスレシーバの取りはずし方は36ページを参照してください。

ブレードカバーは、必ずセットしてください。

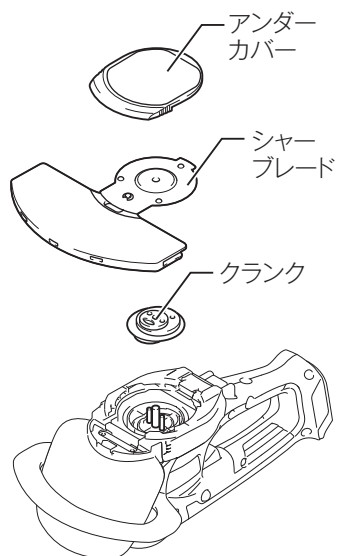


2. ロックレバーを押しながら ①)、アンダーカバーの  印とロックレバーの△印の位置が合うまでアンダーカバーを反時計回りにまわします。②)



シャープブレードの交換方法 (MUM600D)

- 3.** アンダーカバー、シャープブレード、
クランクの順に取りはずします。

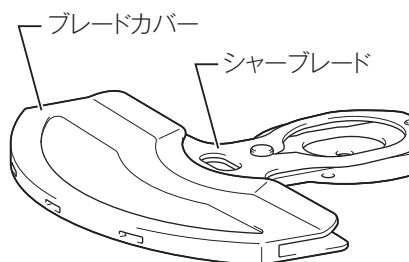


■ 取り付け方

- ・ クランクとアンダーカバー、新品のシャープブレードを準備します。

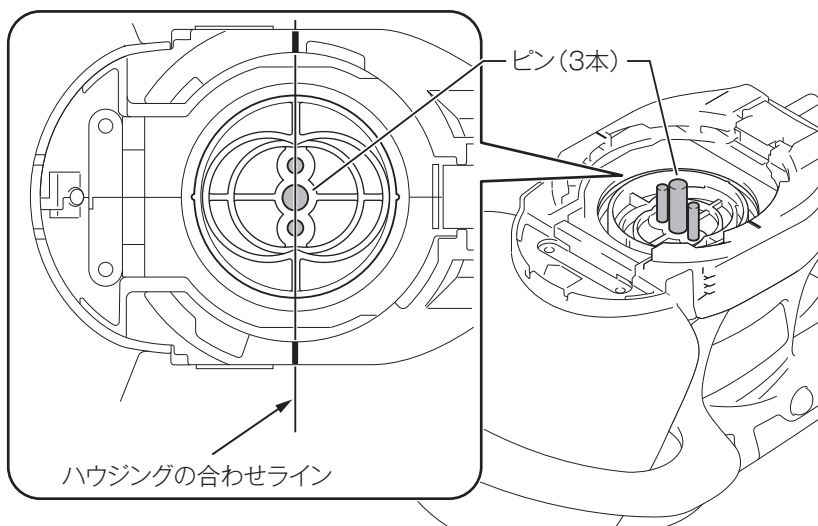


- 1.** 取り替え作業中にシャープブレード
が持ちやすいように、ブレードカ
バーを新しいシャープブレードに付
け替えます。

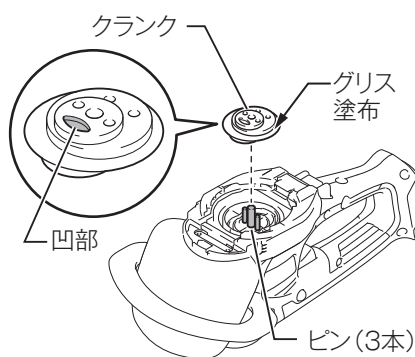


シャープブレードの交換方法 (MUM600D)

- 2.** 3本のピンをハウジングの合わせラインに対して平行にします。

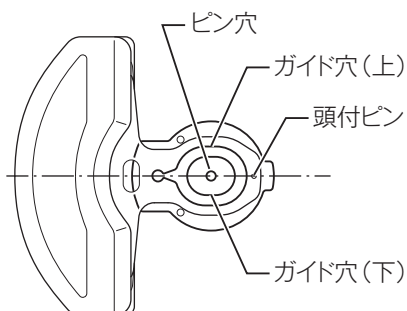


- 3.** クランクの凹部を上にしてピン (3本) にはめ込みます。このとき、別販売品のシャープブレードに付属しているグリスをクランク外周に少量塗布してください。



シャープブレードの交換方法 (MUM600D)

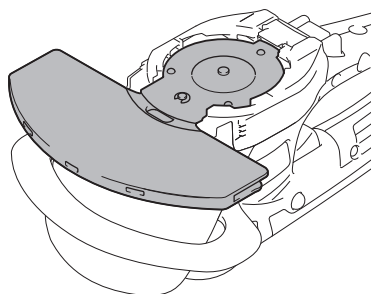
4. シャープブレードは上下2つのガイド穴（クランク挿入部）の中心にベース板のピン穴がくるようにシャープブレードを動かして合わせます。



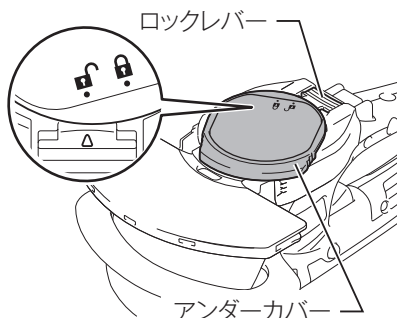
注

・図の位置に頭付ピンが入っているため、脱落させないようにしてください。

5. シャープブレードを裏返し、本製品のピンとシャープブレードのピン穴を合わせて取り付けます。ベース板まで確実におさまっていることを確認してください。

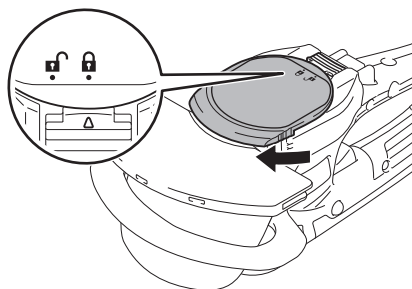


6. アンダーカバーの🔒印とロックレバーの△印の位置を合わせてアンダーカバーをかぶせます。

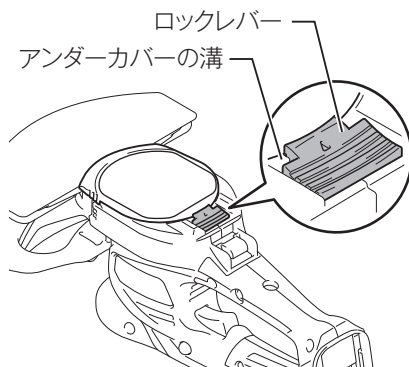


シャープブレードの交換方法 (MUM600D)

7. アンダーカバーを押し付けながら
Ⓔ印とロックレバーの△印が合う
まで（ロックが確実にかかるまで）
アンダーカバーを時計回りにまわ
します。



- ・ このとき、アンダーカバーの溝に
ロックレバーがはまっていることを
確認してください。



8. グラスレシーバを取り付けます。
9. ブレードカバーを取りはずした後、スイッチを入れて動作確認をします。

注

- ・ シャープブレードが正常に動かない場合は、シャープブレードとクランクのかみ合わせが良くありません。もう一度最初からやり直してください。

使い方 (MUH264D)

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

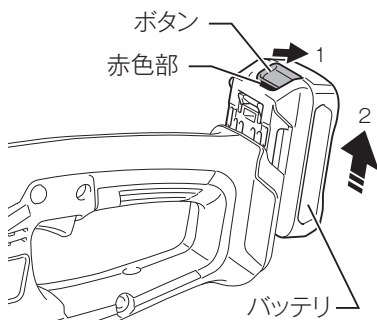
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に動き出し、事故の原因になります。

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

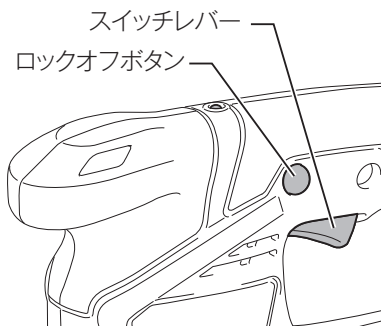
- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

- ・ バッテリーを本製品から取りはずすときは、1. バッテリー正面のボタンを下げながら 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



スイッチの操作

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。ロックオフボタンは、左右、どちらの方向からでも押すことができます。
- ・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



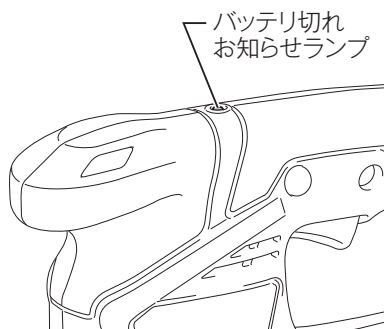
バッテリー切れお知らせランプについて

⚠ 警告

シャープブレードに異物がかみ込んだときはスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、異物を取り除いてください。

・ 不意な動作によるけがの原因になります。

- ・ 本製品を運転すると、赤ランプの点灯、点滅によりバッテリーの残容量を確認できます。
- ・ また、作業中の過負荷によりシャープブレードが止まってしまった場合も赤ランプが点灯します。



バッテリー切れお知らせランプの状態と対応

バッテリー切れ お知らせランプ	状態	対応
赤点滅	バッテリー残容量少	早めにバッテリーを充電してください。
赤点灯※ 1	バッテリー残容量低下 によりモータ停止	バッテリーを充電 してください。
赤点灯※ 1	過負荷によりモータ停止	スイッチを OFF に してください。

※ 1 バッテリー切れお知らせランプ赤点灯のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

チップレシーバの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

チップレシーバの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

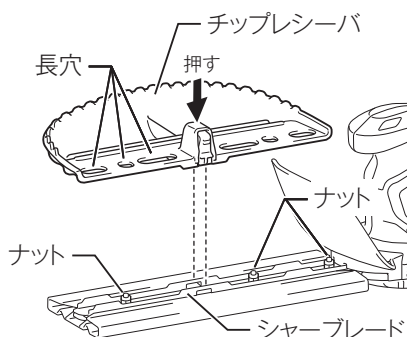
チップレシーバの取り付け、取りはずしの際は、シャープブレードに触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

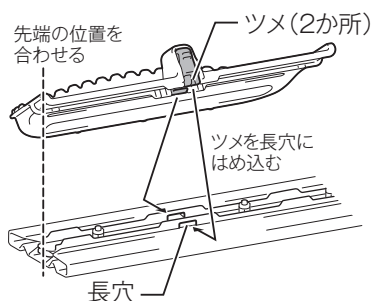
- ・ チップレシーバは刈り取った枝葉をすくい受け、作業後の清掃が楽になります。本製品の左右どちらでも取り付けることができます。

■ 取り付け方

- ・ チップレシーバの長穴をシャープブレードのナットに合わせて上から押し込みます。



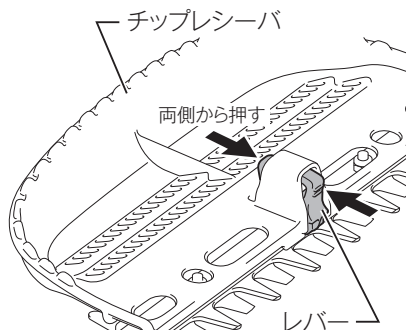
- ・ このとき、シャープブレードの長穴に、チップレシーバのツメが合うように、シャープブレードとチップレシーバの先端を合わせてください。



使い方 (MUH264D)

■ 取りはずし方

- ・ チップレシーバのレバーを両側から押し、ツメをひろげて取りはずします。



注

- ・ ご使用の前にチップレシーバが確実に取り付けされているか確認してください。
- ・ ツメがシャープブレードの長穴または溝にはまったまま無理にはずさないでください。
- ・ 故障の原因になります。

使い方 (MUH264D)

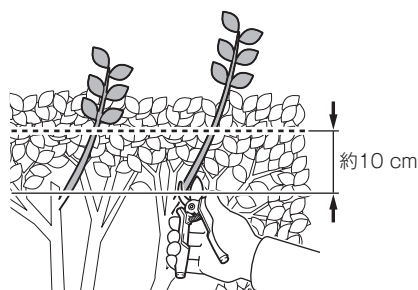
刈り込み方法

⚠ 警告

金属製のフェンスなど硬いものをかみ込むと、刃が損傷したり本製品が故障しますから十分注意してください。また、シャープブレードを地面に接触させないでください。

- ・ 本製品に反発力が生じ、けがの原因になります。

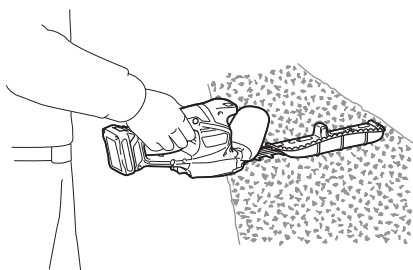
- ・ 製品の能力を超える太い枝や、硬い枝は、あらかじめハサミやノコギリなどで刈込み位置の 10 cm 程度内側を切っておいてください。



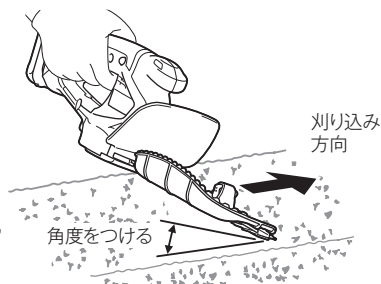
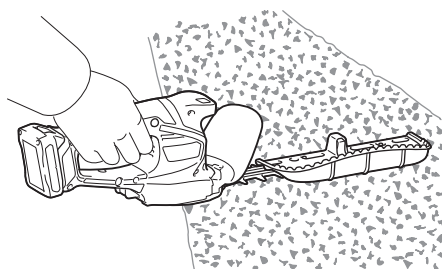
注

- ・ 枯れた樹木など硬いものを切ると本製品が損傷する原因になります。
- ・ 芝生や雑草などを刈り込まないでください。刈刃に芝生や雑草が卡み込むことがあります。

- ・ 本製品をしっかり保持し、身体の前方で使用してください。

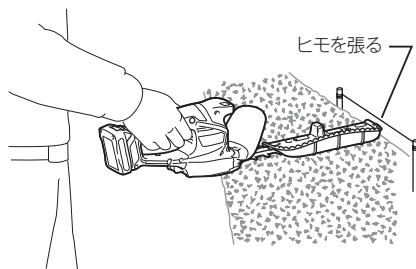


- ・ 刃は刈り込む方向に傾け、ゆっくりと 1 m を 3 ~ 4 秒くらいかけて刈るのが基本です。

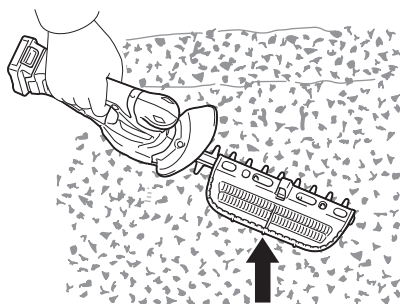


使い方 (MUH264D)

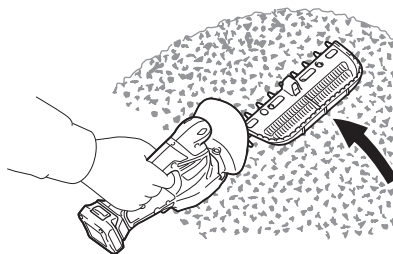
- ・ 生垣の上端をそろえるには、ヒモを張ってそれを目安に刈るときれいに仕上がります。



- ・ 生垣の側面をそろえる場合は、下から上に向かって刈り込むときれいに仕上がります。



- ・ ツゲやツツジの玉造りをする場合は、根元の方から玉の頂上に向かって刈り込むときれいに仕上がります。



トピアリーについて

- ・ トピアリーとは常緑樹を刈り込んで好きな形に作り上げたものです。
(例)



- ・ トピアリーを作る前に先端芽をせん定すると、枝葉の密度が高くなり、よりきれいなトピアリーを作ることができます。

シャープブレードの交換方法 (MUH264D)

⚠ 警告

シャープブレードの交換の際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

シャープブレード取り替えの際は必ず手袋およびブレードカバーをつけ、手や顔などが直接刃物に触れないようにしてください。

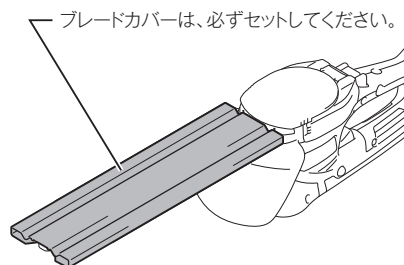
- ・ けがの原因になります。

注

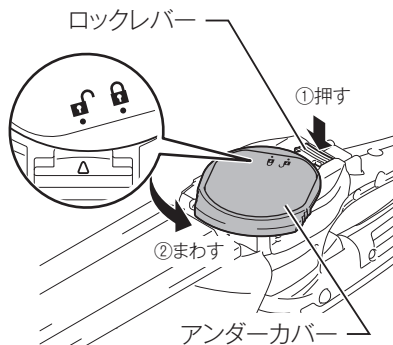
- ・ ギヤやクランクに付いているグリスは拭きとらないでください。故障の原因になります。
- ・ クランクなど、シャープブレード以外の部品に摩耗などの異常がある場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に交換または修理をお申し付けください。

■ 取りはずし方

1. 本製品を裏返します。

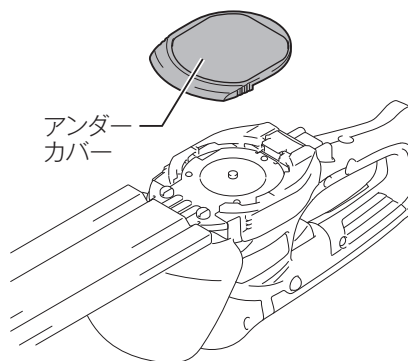


2. ロックレバーを押しながら (①)、アンダーカバーの 印とロックレバーの△印の位置が合うまでアンダーカバーを反時計回りにまわします。(②)

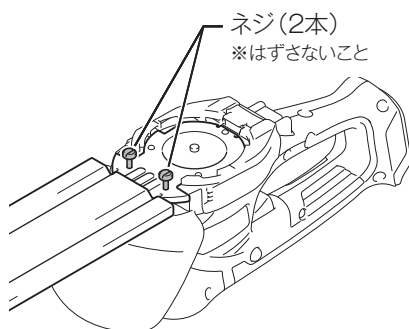


シャープブレードの交換方法 (MUH264D)

3. アンダーカバーを取りはずします。



4. ネジ (2 本) をマイナスドライバなどでゆるめます。



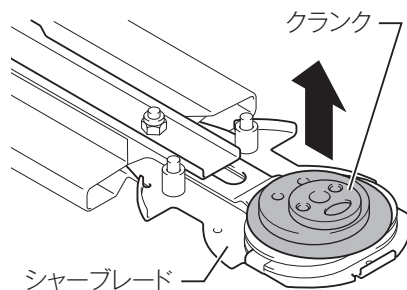
注

- ・ネジはシャープブレードからはずさないでください。ゆるめた状態でシャープブレードを取りはずすことができます。

シャープブレードの交換方法（MUH264D）

5. 本製品を裏返しにしてシャープブレードをはずします。

6. シャープブレードからクランクをはずします。



注

・ クランクは本製品に残っている場合があります。

シャープブレードの交換方法 (MUH264D)

■ 取り付け方

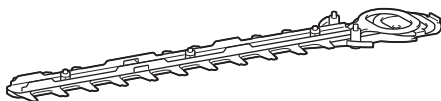
- ・ クランクとアンダーカバー、新品のシャープブレードを準備します。



クランク

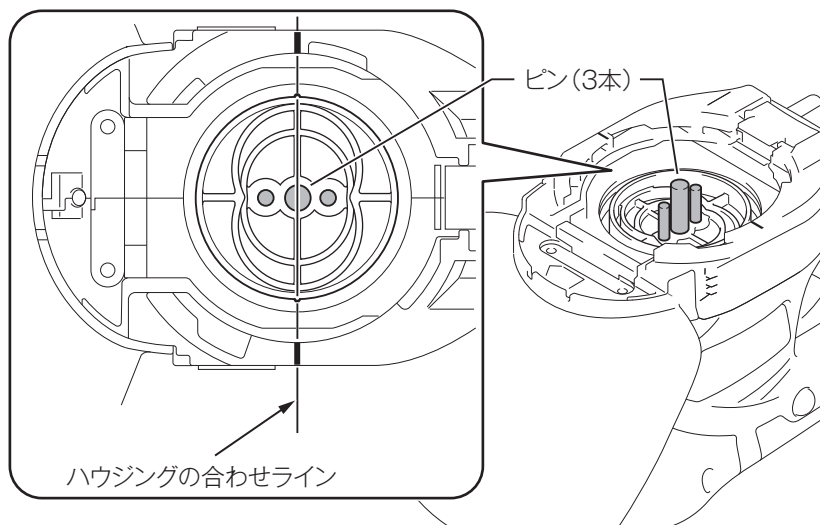


アンダーカバー



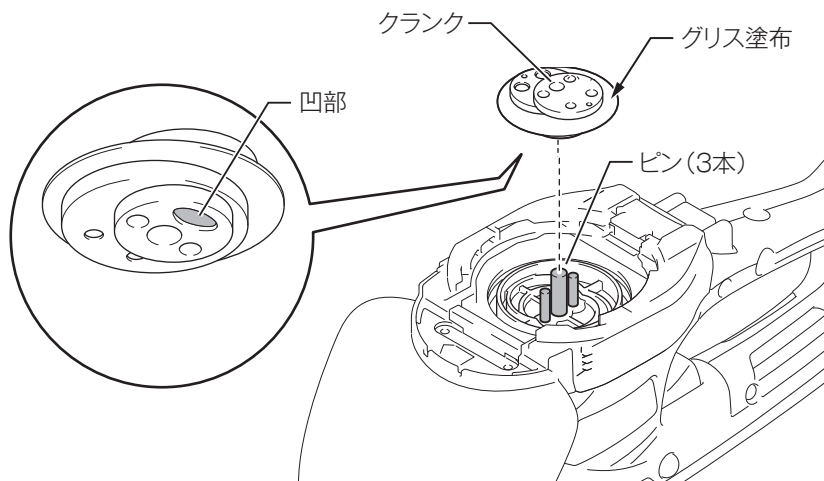
シャープブレード

- 1.** 3本のピンをハウジングの合わせラインに対して直角にします。

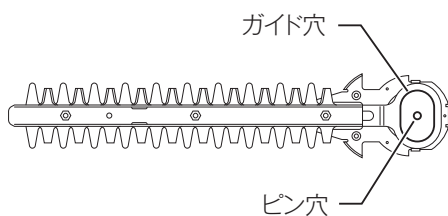


シャープブレードの交換方法 (MUH264D)

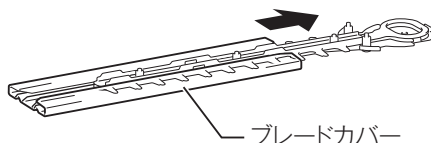
- 2.** クランクの凹部を下にしてピン（3本）にはめ込みます。このとき、別販売品のシャープブレードに付属しているグリスをクランク外周に少量塗布してください。



- 3.** シャープブレードは上下2つのガイド穴（クランク挿入部）の中心にベース板のピン穴がくるようにシャープブレードを動かして合わせます。

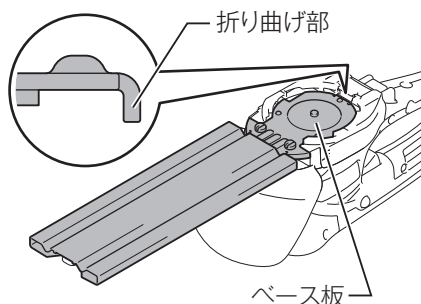


- 4.** 取り替え作業中にシャープブレードが持ちやすいように、ブレードカバーを新しいシャープブレードに付け替えます。

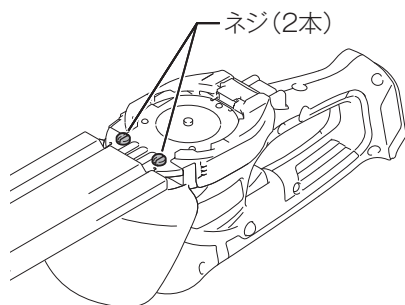


シャープブレードの交換方法 (MUH264D)

5. シャープブレードを裏返し、本製品のピンとシャープブレードのピン穴を合わせて取り付けます。ベース板の折り曲げ部分を本製品の溝にはめ、ベース板が確実におさまっていることを確認してください。

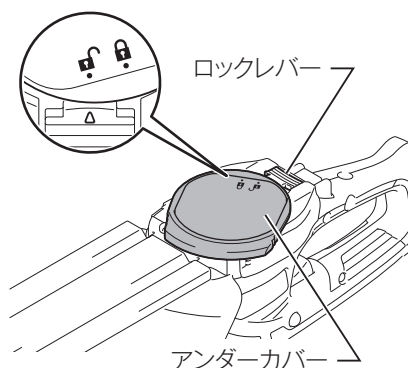


6. ネジ (2本) をマイナスドライバーなどでしっかり締めます。



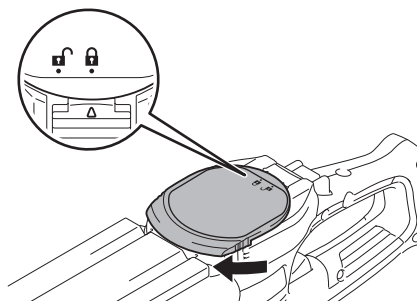
注 ・ネジが簡単にゆるまないようにしっかり締め付けてください。

7. アンダーカバーの🔒印とロックレバーの△印の位置を合わせてアンダーカバーをかぶせます。

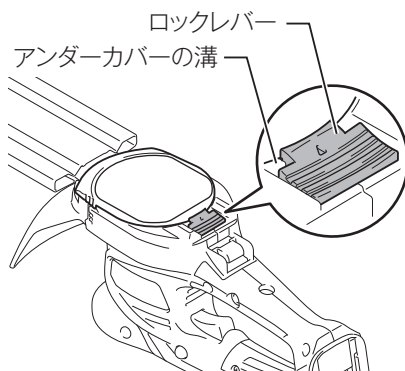


シャープブレードの交換方法 (MUH264D)

- 8.** アンダーカバーを押し付けながら
Ⓐ印とロックレバーの△印が合う
まで（ロックが確実にかかるまで）
アンダーカバーを時計回りにまわ
します。



- 9.** このとき、アンダーカバーの溝に
ロックレバーがはまっていること
を確認してください。



⚠ 注意

アンダーカバーが取り付けしていない状態で作業しないでください。

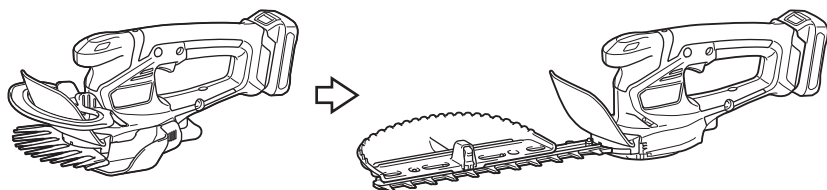
- 10.** ブレードカバーを取りはずした後、スイッチを入れて動作確認をしま
す。

注

- ・ シャープブレードが正常に動かない場合は、シャープブレードとクランクのかみ合わせが良くありません。もう一度最初からやり直してください。

芝生バリカンからミニ生垣バリカンへの変更

- ・ 芝生バリカン MUM600D は、別販売品の生垣バリカン用シャープブレード 260 mm と生垣用 2 ウェイチェンジセットをお買い求めいただくことでミニ生垣バリカンとして使用することができます。



■ 手順

1. 生垣バリカン用シャープブレード 260 mm と生垣用 2 ウェイチェンジセット（ブレードカバー、保管ケース）を用意します。

生垣バリカン用シャープブレード260 mm



生垣用2ウェイチェンジセット



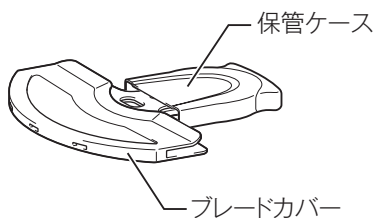
ブレードカバー



保管ケース

2. 芝生バリカン MUM600D のグラスレシーバを取りはずします。
(36 ページを参照してください。)
3. 芝生バリカン用シャープブレードを取りはずします。
(41 ~ 42 ページを参照してください。)

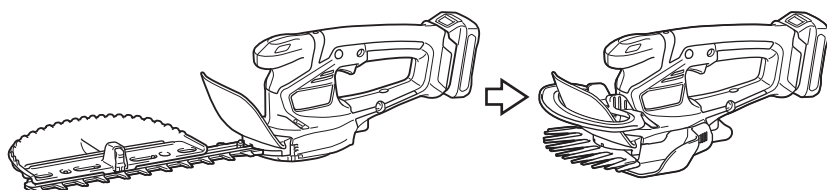
- 4.** 取りはずした芝生バリカン用シャープブレードは、ブレードカバーと保管ケースを取り付けて保管します。



- 5.** 生垣バリカン用シャープブレード 260 mm を取り付けます。
(55 ~ 58 ページを参照してください。)

ミニ生垣バリカンから芝生バリカンへの変更

- ミニ生垣バリカン MUH264D は、芝生バリカン用シャープブレード 160 mm と芝生用 2 ウェイチェンジセットをお買い求めいただくことで芝生バリカンとして使用することができます。



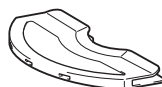
■ 手順

1. 芝生バリカン用シャープブレード 160 mm と芝生用 2 ウェイチェンジセット（ブレードカバー、保管ケース、キワ刈りガード、グラスレシーバ）を用意します。

芝生バリカン用シャープブレード160 mm



芝生用2ウェイチェンジセット



ブレードカバー

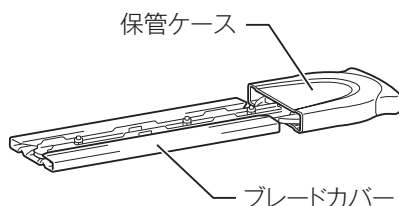
保管ケース

キワ刈りガード

グラスレシーバ

2. 生垣バリカン用シャープブレード 260 mm を取りはずします。
(52 ~ 54 ページを参照してください。)

3. 取りはずした生垣バリカン用シャープブレード 260 mm は、ブレードカバーと保管ケースを取り付けて保管します。



- 4.** 芝生バリカン用シャープブレード 160 mm を取り付けます。
(42 ~ 45 ページを参照してください。)
- 5.** グラスレシーバを取り付けます。(37 ページを参照してください。)
- 6.** キワ刈りガードを取り付けます。(38 ページを参照してください。)

保守・点検について

⚠ 注意

- 点検・整備の際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。
- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

本製品のお手入れ

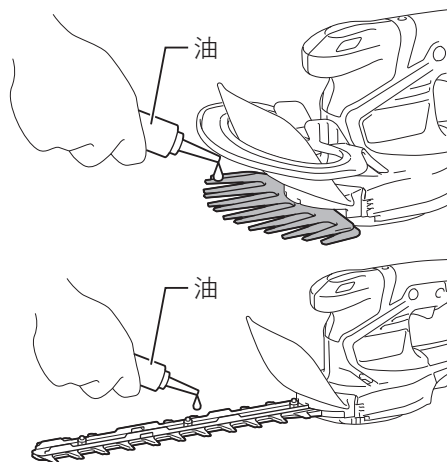
- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

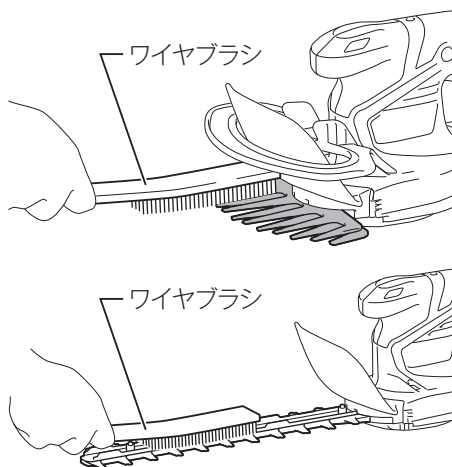
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
- ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

シャープブレードのお手入れ

- 作業前と作業中の 1 時間に 1 回程度はシャープブレードに注油（機械油やスプレー式の潤滑油）をしてください。



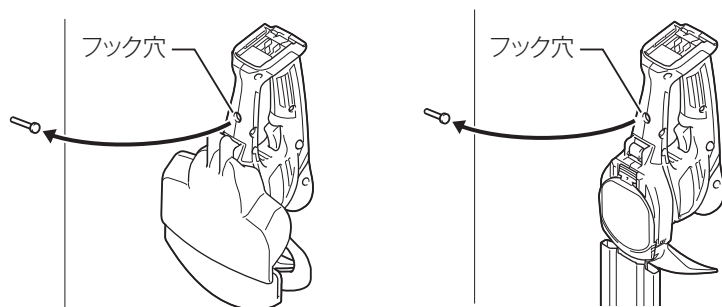
- 作業後は、ワイヤブラシで刃の両面の汚れを落とし、布で拭きとってから機械油やスプレー式の潤滑油を十分にさしてください。



注 ・ ブレードは水洗いしないでください。サビや故障の原因になります。

保管場所について

- ・ 保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずして保管してください。
- ・ 本製品の底面にあるフック穴を壁面の釘やネジに引っかければ便利です。



- ・ シャーブレードにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに大切に保管してください。
- ・ 雨や水のかからない場所で保管してください。

修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

主要機能

主要機能 \ モデル	MUM600D	MUH264D
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリー (容量 / セル数)	リチウムイオンバッテリー	
	BL1015 (1.5 Ah/3 本)	
電圧	直流 10.8 V	
ストローク数 (カット数)	1,250 min ⁻¹ (往復 / 分) (2,500 min ⁻¹ (回 / 分))	
刈り込み幅	160 mm	260 mm
最大切断径	—	ø 10 mm (樹木の種類により変わる 場合があります)
使用時間※	約 40 分	約 40 分
本製品寸法 (長さ×幅×高さ)	326 mm × 161 mm × 131 mm	548 mm × 120 mm × 131 mm
質量 (バッテリー含む)	1.2 kg	1.3 kg

充電器	DC10SA
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	80 W
出力電圧	直流 10.8 V
出力電流	直流 5 A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ バッテリーの充電状態や草木の状態、刃物の切れ味などの作業条件により異なります。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881A93G0

IWT